

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

交通安全施設整備事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【事業の内容】

- (1) 交通安全施設維持事業
  - ・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。
- (2) 交通安全施設整備事業
  - ・歩道段差切下げを含む交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,211	37,211	30,221		6,990
主な支出内訳				
・交通安全施設維持事業				
ガードレール塗装等維持修繕料				
道路ライン等設置業務委託料(区画線L=2,848.2m、文字・記号L=1,785.04m)				
・交通安全施設整備事業				
歩道段差切下げ等交通安全対策施設工事請負費(西鎌倉一丁目3番 先)				
インターロッキングブロック舗装工 A= 347㎡				
視覚障害者誘導用ブロック工 A= 7.3㎡				
歩道段差切下げ等交通安全対策施設工事請負費(植木255番地 先外)				
横断防止柵設置工 L=235m				
手摺及び手摺柵設置工 L=66.4m				
歩道段差切下げ等交通安全対策施設工事請負費(腰越四丁目10番 先外)				
歩道段差切下工 N=20箇所				
主な特定財源				
・国県支出金				



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※事故防止対策及び交通の円滑化において、交通安全施設の整備は急務であるが、道路区域(道路幅員等)等の個々固有の現場状況があるの中での対応には限界があり、苦慮している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※個々固有の現場状況において、実施可能でかつ有効な対策を実施し、交通の円滑化、事故防止等を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※懸案事業数及び実施項目が多岐にわたり、整備には、多くの期間と費用が必要であることから、実施すべき案件全ての完了には至っていない。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※継続して整備を進めるにあたり、計画的かつ効果的に交通の円滑化及び安全性の確保に向けて、創意工夫しながら交通安全施設の整備改修に努める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	歩行者の安全対策についての市民要望は多いが、歩道新設等の施設整備には、用地買収が必要不可欠であり、早期実現が難しい状況にあるため、当面、実施可能な対策を実施しながら、事業の充実、拡大を図る。				
担当課長氏名:		道路整備課長 坂巻龍馬			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	歩行空間のバリアフリー化を始めとする、ユニバーサルデザインの導入を視野に入れ、交通安全施設整備の充実拡大に取り組む。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		